

法人名等	社会福祉法人遍照会
施設名	遍照浦和美園保育園
報告者（役職）	中野 幸子（施設長）
住所・連絡先	埼玉県さいたま市緑区美園 3-10-16
	☎ 048-812-2244
	E-mail urawamisono@henjyoukai.jp

○タイトル（保育計画）

「みんな違ってみんないい、心と身体を作るサーキット」

○主な助成備品

マット、鉄棒、跳び箱、平均台、ミニハードル、ミニ跳び箱、キャタピラーマット

1. 保育計画策定の目的

コロナウイルスの影響で遊ぶ場が減少し、目いっぱい楽しむ事が難しい場面も多くなってきている世の中で、私たち保育士は子どもたちの体力や気持ちを発散させてあげられるように日々の活動を考えています。感染に気を付けながらも思いきり楽しめる活動を提供したいのですが、現状では20名を超える幼児組が思い切り体を動かして遊ぶには保育園の園庭では少し狭く、十分なスペースの確保が難しいため体力の発散に悩んでいました。しかし、今回助成して頂いた遊具を遊びに取り入れると、室内でも身体をダイナミックに動かして遊ぶ事が可能になり、体力や気持ちの発散を十分にさせてあげられるようになりました。幼児組では、一つ一つの遊具の遊び方を知り目標を持って取り組むことで、繰り返して挑戦する姿や「できた」と嬉しそうにする姿も見られました。「楽しいね」「どうやったらできるようになるかな」「頑張れ!」「できたよ!」と遊具遊びをしていく中で友達や保育士との関わりを広げ、励まし合いながら遊び込む姿が見られ心身共に豊かになったことを感じています。乳児クラスでは大好きな保育士に見守られながら遊具に興味を示し、手足をいっぱい使って気持ちよく体を動かすことに喜びを感じている姿が見られるようになりました。助成していただいた遊具をたくさん使わせて頂きながらコロナウイルスに負けない元気な体作りを続け、楽しく豊かな保育に尽力していきたいと思い、保育計画の策定をしました。



2. 具体的な実施内容

遊具に触れよう！遊び方を知ろう！

まずは安全に楽しむために遊具に触れ、材質や遊具の特徴を知るための時間をつくりました。

助成品の遊具を見ると「うわぁ！」と目を輝かせて注目！！「なんだろう？」「どうやって遊ぶんだろう？」と興味津々の子供たち。まずは遊具の名前を覚えながら安全な遊び方についてみんなで考えました。



3歳児*平均台に挑戦！！おととと！落ちないようにゆっくり。。。ゆっくり。。。



一歩ずつ一歩ずつ！！
腕にも足にもおなかにも
力を入れるよ！難しいなあ・・・

まっすぐ前を向いて👁👁
でも下も見ないと？👁👁



初めは体のバランスを取りながらまっすぐ歩くことが難しく、よろよろとしていた子供たちですが、何回も何回もチャレンジしてコツをつかむと平均台の端から端までを手放しで歩けるようになりました。友だち同士で応援したり、コツを教え合ったりしながら一人一人が楽しんで取り組んでいました。

4・5歳児*跳び箱に挑戦!!



飛び降りてみよう!!大丈夫!
こわくないよ!!



「よしよ!!」
まずは跳び箱に
乗ってみよう!!



せーのっ!!
あと少し!!

手を付く位置は?踏み切る場所は?考えて試して・・・を繰り返しながら何度も挑戦していました。

みんなで鉄棒に挑戦!!



豚の丸焼き~~!



握ってみよう!
ぶら下がってみよう!

クルッ!!
あ!回れた!!



初めは鉄棒を握ってみたり、ぶら下がったりしながら触れ合いを楽しみました。徐々に豚の丸焼きができるようになり、前回りもあつという間に成功!!成功体験を繰り返していくうちに自信に満ち溢れる素敵な表情に大変身していきました。

みんなで色々なマット遊び!!

フワフワで気持ちいいね~!



床との感触の違いを感じ、柔らかいマットの上だからこそその遊びを楽しんでいます。思い切りジャンプしたり、不安定な足場でも踏ん張って足を動かしたりしながら体幹のトレーニング!!恐怖心を捨てて跳んだり転がったり、ダイナミックに体を動かせるようになりました。

浦和美園サーキットのでき上がり！☆

頂いた助成品を繋げるとこんなに素敵なサーキット広場が保育室にでき上がります。子どもたちは一つ一つ遊具を超えてゴールを目指します！！

こちらは2歳児さん！
真剣な表情です。



先生と一緒に！お友達と一緒に！
一緒になら何でもできちゃう気がするんだ～～！

僕たちだってできるよ◎

0, 1歳児さんも
運動遊びが
大好きです！



なんだろう？
楽しそうだなあ？
やってみよう！！



乳児クラスにもこんなに素敵な姿が見られます。小さな体に合わせた小さな跳び箱やマットのトンネルくぐり。使い方を工夫して子どもたちのパワーを引き出しています。エネルギー全開！！体をいっぱい動かして遊ぶ楽しさや喜びを感じながら過ごしています。

3. その成果と評価

今年度はコロナウイルスという未知の恐怖と戦いながら保育を進めてきました。その中でも私たち保育士が子どもたちにしてあげられる最大限実りのある保育を提供したいと試行錯誤の毎日でした。安全に密を避けながらも楽しく思い切り体を動かせる活動を作り出すことは難しいものでした。今回頂いた数々の助成品を保育の中に取り入れる事で友だちと間隔をあけての運動遊びや少人数での運動遊びが可能となり、密を避けて活動することができたり、室内でも思い切り体を動かし気持ちと体力の発散ができるようになりました。毎日体を動かすことで体力もつきウイルスに負けない体づくりもできたように思います。

又、友だちや保育士との関わりの中で様々なことに挑戦し、達成できる喜びを知るきっかけ作りにもなりました。体はもちろん気持ちもまた一つ大きくなった子どもたちです。

4. 今後の課題と展望

体を動かしてダイナミックに遊ぶ事で心も身体もリフレッシュして気持ち良く過ごせるよう、日々の保育の向上を目指し、その中で友だちと切磋琢磨しながらコツコツと上達を目指す経験や励まし合い学び合うきっかけを作っていけたらと考えています。まだまだコロナウイルスとの戦いは続く事が予想されますが、健康に楽しく過ごせる保育園でいられるように日々精進してまいります。

今回助成して頂いた品々は今後も末永く大切に使用させていただきます。

ありがとうございました。

以上